

医政総発 0930 第 2 号  
薬生安発 0930 第 3 号  
平成 28 年 9 月 30 日

公益社団法人日本臨床工学技士会会長 殿

厚生労働省医政局総務課長  
( 公 印 省 略 )

厚生労働省医薬・生活衛生局安全対策課長  
( 公 印 省 略 )

#### 医療事故情報収集等事業第 46 回報告書の公表等について

医療行政の推進につきましては、平素から格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
医療事故情報収集等事業につきましては、平成 16 年 10 月から、医療機関から報告された医療事故情報等を収集、分析し提供することにより、広く医療機関が医療安全対策に有用な情報を共有するとともに、国民に対して情報を提供することを通じて、医療安全対策の一層の推進を図ることを目的として実施しているところです。今般、公益財団法人日本医療機能評価機構より、第 46 回報告書が公表されましたのでお知らせします。  
本報告書における報告の現況等は、別添 1 のとおりです。また、別添 2 のとおり、再発・類似事例の発生状況が報告されています。

貴職におかれましては、同様の事例の再発防止及び発生の未然防止のため、本報告書の内容を御確認の上、別添の内容について留意されますとともに、貴会会員に対する周知をお願いいたします。

なお、本報告書につきましては、別途公益財団法人日本医療機能評価機構から各都道府県知事、各保健所設置市長及び各特別区長宛に送付されており、同機構のホームページ (<http://www.med-safe.jp/contents/report/index.html>) にも掲載されていますことを申し添えます。

## 医療事故情報収集等事業 第46回報告書のご案内

## 1. 報告の現況

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業 (対象: 2016年4月～6月に報告された事例)

表1 報告件数及び報告医療機関数

		2016年			合計
		4月	5月	6月	
報告義務対象	報告件数	281	244	288	813
医療機関 による報告	報告医療 機関数	167			
参加登録申請	報告件数	33	11	39	83
医療機関 による報告	報告医療 機関数	29			
報告義務対象 医療機関数		275	276	276	276
参加登録申請 医療機関数		753	755	755	755

(第46回報告書 50～56頁参照)

表2 事故の概要

事故の概要	2016年4月～6月	
	件数	%
薬剤	58	7.1
輸血	2	0.2
治療・処置	261	32.1
医療機器等	25	3.1
ドレーン・チューブ	53	6.5
検査	36	4.4
療養上の世話	292	35.9
その他	86	10.6
合計	813	100.0

(第46回報告書 62頁参照)

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業 (対象: 2016年4月～6月に発生した事例)

- 1) 参加医療機関数 1,190 (事例情報報告参加医療機関数 643施設を含む)
- 2) 報告件数 (第46回報告書 80～88頁参照)
  - ①発生件数情報報告件数: 219,661件 (報告医療機関数 520施設)
  - ②事例情報報告件数: 6,793件 (報告医療機関数 72施設)

## 2. 医療事故情報等分析の現況 (第46回報告書 106～156頁参照)

今回、「個別のテーマの検討状況」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- (1) 腫瘍用薬に関連した事例 【第46回報告書 108～137頁参照】
  - ②「レジメン登録、治療計画、処方」の事例
- (2) 持参薬と院内で処方した薬剤の重複投与に関連した事例 【第46回報告書 138～148頁参照】
- (3) 永久気管孔にフィルムドレッシング材を貼付した事例 【第46回報告書 149～156頁参照】

## 3. 再発・類似事例の発生状況 (第46回報告書 157～183頁参照)

これまでに、「共有すべき医療事故情報」や「個別のテーマの検討状況」、「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が報告されたテーマを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例のテーマは下記の通りです。

- (1) 「アレルギーのある食物の提供」 【第46回報告書 160～172頁参照】  
(医療安全情報No. 69) について
- (2) 「放射線検査での患者取り違え」 【第46回報告書 173～183頁参照】  
(医療安全情報No. 73) について

\*詳細につきましては、本事業のホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。